2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅲ【人体構造学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	山村　聡 （　やまむら　さとし　）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 期	授業形態･回数	講義演習	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の構造機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な構造機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な構造機能を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１．「解剖学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１．「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験、卒業試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験の成績：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、卒業試験を合計して 60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1 期	1	細胞の構造・細胞分裂と遺伝子	細胞の構造と細胞分裂・遺伝子について説明することができる	講義
	2	組織１（上皮組織_結合組織）	上皮組織について器官ごとの特徴を説明することができる	講義
	3	組織２（筋組織_神経組織）	結合組織について器官ごとの特徴を説明することができる	講義
	4	運動器系１	体幹・上肢の骨について概説できる	講義
	5	運動器系２	下肢の骨・連結について概説できる	講義
	6	運動器系３	筋・神経・運動について概説できる	講義
	7	運動器系４	筋・神経・運動について概説できる	講義
	8	運動器系５	筋・神経・運動について概説できる	講義
	9	運動器系６	筋・神経・運動について概説できる	試験
	10	まとめ		講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	演習
2 期	13	循環器系の構造１	血管系概論・心臓について説明できる	講義演習
	14	循環器系の構造２	動脈系・静脈系・リンパ系・胎児循環について説明できる	講義演習
	15	呼吸器系の構造	呼吸器系（鼻腔・喉頭・気管・肺）について説明できる	講義演習
	16	消化器系の構造１	消化器系（中腔性臓器）について説明できる	講義演習
	17	消化器系構造２	消化器系（実質性臓器）について説明できる	講義演習
	18	泌尿器系の構造	泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）について説明できる	講義演習
	19	生殖器系の構造	男性生殖器・女性生殖器について説明できる	講義演習
	20	内分泌系の構造	内分泌器系について説明できる	講義演習
	21	感覚器系の構造	感覚器系について説明できる	講義演習
	22	体幹部の構造	体幹の運動器について説明できる	講義演習
	23	上肢の構造	上肢の運動器について説明できる	講義演習
3 期	24	下肢の構造	下肢の運動器について説明できる	講義演習
	25	頭部・頸部の構造	顔面部・頸部の運動器について説明できる	講義演習
		期末試験 （一次卒業試験）		試験
	26	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	演習
	27	問題演習①	四者択一の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	28	問題演習②		演習
	29	問題演習③		演習
	30	問題演習④		演習
	31	問題演習⑤		演習
	32	問題演習⑥		演習
	33	問題演習⑦		演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	34	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	演習
	35	まとめ演習１	四者択一の解答を導き出すことができる。	演習
	36	まとめ演習２		演習

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅳ【生理学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	福本　彩季 （　ふくもと　あき　）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義演習	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な機能を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について学習するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１．「生理学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１．「標準生理学」　医学書院 ２．「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験、卒業試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験の成績：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験 60%以上と卒業試験の合格により履修とする。この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅳ・人体機能学演習の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。 授業内容をしっかりメモするのはもちろん、授業をよく聴いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1 期	1	身体活動の協調１	生体の適応・ホメオスタシス・循環調節・体液・血糖値・体温・バイオリズムについて各器官系について説明できる	講義
	2	身体活動の協調２		講義
	3	身体活動の協調３		講義
	4	生体の防御機構１	生体の防御機構について説明できる	講義
	5	生体の防御機構２		講義
	6	代謝１	ＡＴＰ産生の過程と運動の仕組みを説明できる	講義
	7	代謝２	栄養・代謝・産熱について説明できる	講義
	8	神経１	神経系の機能を説明できる	講義
	9	神経２		試験
	10	神経３		講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答・まとめ	到達目標を達成するために各自で評価を行う	演習
2 期	13	生理学の基礎	体液のｐＨ・浸透圧について各器官の働きを説明できる	講義演習
	14	循環のしくみ１	血液と循環器系の働きを説明できる	講義演習
	15	循環のしくみ２		
	16	呼吸のしくみ	呼吸器系の働きを説明できる	講義演習
	17	消化と吸収のしくみ	消化器系の働きを説明できる	講義演習
	18	腎臓のはたらき	泌尿器系の働きを説明できる	講義演習
	19	内分泌のはたらき	内分泌系の働きを説明できる	講義演習
	20	神経のはたらき１	中枢神経系・末梢神経系の働きを説明できる	講義演習
	21	神経のはたらき２		講義演習
	22	運動１	筋と運動のしくみを説明できる	講義演習
	23	運動２		講義演習
3 期	24	感覚１	感覚について説明できる	講義演習
	25	感覚２		講義演習
		到達目標達成試験 （一次卒業試験）		試験
	26	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	演習
	27	問題演習①	四者択一の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	28	問題演習②		演習
	29	問題演習③		演習
	30	問題演習④		演習
	31	問題演習⑤		演習
	32	問題演習⑥		演習
	33	問題演習⑦		演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	34	試験の解説・解答・まとめ	到達目標達成のために各自で評価を行う	演習
	35	まとめ演習１	四者択一の解答を導き出すことができる	演習
	36	まとめ演習２		

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅱ【病理学概論】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	李　英俊 （い　よんじゅん）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	病理学とは、生体に起こる病的な状態、すなわち疾病の本態を解明する学問です。疾病はその成り立ちから、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍の五つの病変カテゴリーに分類されますが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病を起こす原因、それぞれの疾病で生じる変化、その経過、疾病がたどる転帰を総合的にとらえるように学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	疾病の全体像、すなわち原因、経過、治療法、予後、および結末を総合的に理解するために、疾病における形態と機能の変化、および本態を学習する。

【担当教員から】

教科書	１．「病理学概論」第２版；東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株)
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験評価で 60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・臨床医学Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くことに努めてください。疾病各論の基礎となる科目ですので、各論の理解のためにも充分な学習が必要です。そのためにも、教科書は講義内容が理解できるようによく読んで準備してください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	病理学とはどのような学問か 疾病についての基本的な考え方 病因①　内因（素因・遺伝・内分泌・免疫・心因性疾患）	病理学とはどのような学問かを理解できる。 疾病についての基本的な考え方を説明できる。内因についてそれぞれ説明できる。	講義
	2	免疫異常・アレルギー 1)免疫の一般　2)液性免疫と細胞性免疫　3)アレルギーの分類 4)免疫不全　5)自己免疫疾患	免疫異常・アレルギーについてそれぞれ説明できる。	講義
	3	病因②　外因 1)栄養素の供給障害 2)物理的病因　3)化学的病因 4)生物学的病因　5)小児の疾患	外因についてそれぞれ説明できる。	講義
	4	循環障害① 1)ヒトの循環器系　2)充血・うっ血 3)貧血・虚血　4)出血	循環障害についてそれぞれ説明できる。	講義
	5	循環障害② 5)血栓症　6)塞栓症　7)梗塞 8)水腫・浮腫・脱水　9)ショック		講義
	6	退行性病変 1)　萎縮　2)変性　3)壊死と死 進行性病変 1)肥大と増殖　2)再生　3)化生 4)移植　5)創傷治癒・組織内異物の処理	退行性病変についてそれぞれ説明できる。 進行性病変についてそれぞれ説明できる。	講義
	7	炎症 1)炎症の一般　2)炎症の分類	炎症についてそれぞれ説明できる。	講義
	8	腫瘍①　1)腫瘍の一般	腫瘍についてそれぞれ説明できる。	講義
	9	腫瘍②　2)良性腫瘍　3)悪性腫瘍		講義
	10	先天性異常 1)先天性異常総論 2)遺伝性疾患　3)染色体異常	先天性異常について説明できる。 遺伝性疾患について説明できる。 染色体異常について説明できる。	講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅲ【臨床医学各論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	島村 聡 （しまむら　さとし）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「臨床医学各論」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、臨床医学各論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「臨床医学各論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「臨床医学各論」の範囲の評価 60%以上により履修とする。 【卒業試験対象科目】この科目は疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・臨床医学Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「臨床医学各論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	感染症のまとめ	感染症について概説できる。	講義・演習
	2	消化器疾患のまとめ①	消化器疾患について概説できる。	講義・演習
	3	消化器疾患のまとめ②		講義・演習
	4	呼吸器疾患のまとめ	呼吸器疾患について概説できる。	講義・演習
	5	循環器疾患のまとめ	循環器疾患について概説できる。	講義・演習
	6	内分泌・アレルギー疾患のまとめ①	内分泌について概説できる。 アレルギー疾患について概説できる。	講義・演習
	7	内分泌・アレルギー疾患のまとめ②		講義・演習
	8	腎・尿路疾患のまとめ	腎・尿路疾患について概説できる。	講義・演習
	9	神経系疾患のまとめ①	神経系疾患について概説できる。	講義・演習
	10	神経系疾患のまとめ②		講義・演習
	11	運動器疾患のまとめ①	運動器疾患について概説できる。	講義・演習
	12	運動器疾患のまとめ②		講義・演習
	13	外科総論のまとめ	外科総論について概説できる。	講義・演習
	14	麻酔・ペインクリニックのまとめ	麻酔・ペインクリニックについて概説できる。	講義・演習
		期末試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅳ【臨床医学総論演習】

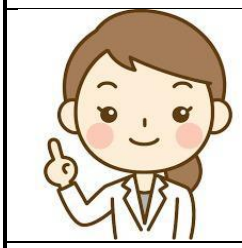
【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	稲葉 千里 （いなば　ちさと）	
単位数	2 単位			
開講学期	3 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「臨床医学総論」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、臨床医学総論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「臨床医学総論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「臨床医学総論」の範囲の評価 60%以上により履修とする。 【卒業試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・臨床医学Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「臨床医学総論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
３期	1	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	2	問題演習②		演習
	3	問題演習③		演習
	4	問題演習④		演習
	5	問題演習⑤		演習
	6	問題演習⑥		演習
	7	問題演習⑦		演習
	8	問題演習⑧		演習
	9	問題演習⑨		演習
	10	問題演習⑩		演習
	11	問題演習⑪		演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	12	まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病治療論Ⅱ【リハビリテーション医学概論Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	福本　彩季 （ふくもと　あき）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	リハビリテーションは運動機能、日常生活活動の能力の障害を回復させ、社会・環境への適応を促進するために必要な第４の医学と呼ばれる。ここでは、リハビリテーション医学を理解し、障害と障害者への対応の概念を疾患別に学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	リハビリテーションの概念を理解するために、疾患別の障害の定義、分類について習得する。

【担当教員から】

教科書	１．『リハビリテーション医学』学校協会編
参考書	１．『標準リハビリテーション医学』医学書院 ２．『理学療法ハンドブック』協同医書出版社 ３．『障害と活動の測定・評価ハンドブック』南江堂
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験の評価を合計して 60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・疾病治療論Ⅱ・リハビリテーション医学概論Ⅱの単位として認定されます。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） リハビリテーション医学は「人間たるにふさわしい状態になる」という意味です。中世では「名誉の回復」という法律用語として使用されてきました。従って、本学問は「人間たるにふさわしい状態になる」ために行うアプローチ（対応）の体系です。疾病や障害によって、出来ないことできるようになるといった単なる機能の回復という狭い意味ではなく、権利・資格・名誉の回復など人間らしく生きる権利の回復を目指すものです。 本科目を通じて、疾病や障害をもちながらもそこで生活する「その人」とどう関わり、その関わりから何を学ぶかをという基本姿勢を軸に学習してください。 また、授業毎に前回授業分の小テストを実施し、授業の習熟度を確認します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脳卒中のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	2	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脳卒中のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	3	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脊髄損傷のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	4	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	脊髄損傷のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	5	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	切断のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	6	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	小児のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	7	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	小児のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	8	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	パーキンソン病のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	9	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	呼吸器疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	10	各疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	心疾患のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝが説明できる。	講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病治療論Ⅲ【リハビリテーション医学概論演習】

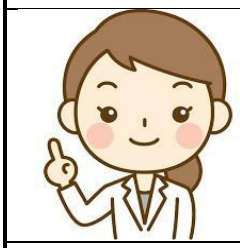
【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	福本　彩季 （ふくもと　あき）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「リハビリテーション医学概論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、リハビリテーション医学について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	『リハビリテーション医学』東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	『標準リハビリテーション医学』医学書院
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「リハビリテーション医学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「リハビリテーション医学」の範囲の評価 60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・疾病治療論Ⅲ・リハビリテーション医学概論演習の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「リハビリテーション医学概論Ⅰ・Ⅱ」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	リハビリテーションの概要	リハビリテーションの基本理念について概説できる。 国際生活機能分類について概説できる。	講義・演習
	2	リハビリテーション医学と医療	リハビリテーション医学の概要について概説できる。	講義・演習
	3	障害の評価①	心身機能・身体構造の評価について概説できる。 活動の評価について概説できる。 合併症の評価について概説できる。 運動年齢テストについて概説できる。 高次脳機能評価について概説できる。 摂食嚥下障害の評価について概説できる。	講義・演習
	4	障害の評価②		講義・演習
	5	医学的リハビリテーション	理学療法について概説できる。 作業療法について概説できる。 言語聴覚療法について概説できる。 装具療法について概説できる。	講義・演習
	6	脳卒中のリハビリテーション	脳卒中のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	7	脊髄損傷のリハビリテーション	脊髄損傷のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	8	切断のリハビリテーション	切断のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	9	小児のリハビリテーション	小児のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	10	骨関節疾患、関節リウマチのリハビリテーション	骨関節疾患のリハビリテーションについて概説できる。 関節リウマチのリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	11	末梢神経障害のリハビリテーション	末梢神経障害のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	12	パーキンソン病、呼吸器、心疾患のリハビリテーション	パーキンソン病のリハビリテーションについて概説できる。 呼吸器のリハビリテーションについて概説できる。 心疾患のリハビリテーションについて概説できる。	講義・演習
	13	運動学の基礎、身体各部の機能	運動学の基礎について概説できる。 身体各部の機能について概説できる。	講義・演習
	14	正常歩行と異常歩行	正常歩行について概説できる。 異常歩行について概説できる。	講義・演習
		期末試験（一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		期末試験（二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき理論Ⅱ【はき理論Ⅱ】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	武井　良之 （たけい　よしゆき）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸刺激に対する生体の反応を学ぶことで鍼灸施術の治効を理解する。刺激に対する感受性、反応（反射）、などの自然治癒力にかかわる西洋医学的な生体メカニズムを理解する
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	鍼灸施術の刺激に対する生体反応理解するために、治効メカニズムを学修する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版（株）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	定期（到達目標達成確認）試験の評価を合計して 60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床はり学、臨床きゅう学・はき理論Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	鍼灸療法の一般治効理論① 1)自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	自律神経の概要について説明できる。 自律神経の化学的伝達と受容体について説明できる。 血管の自律神経性調節機構について説明できる。	講義
	2	鍼灸療法の一般治効理論② 2)鍼灸の血流に及ぼす影響 3)鍼灸刺激とポリモーダル受容器	鍼灸の血流に及ぼす影響について説明できる。 鍼灸刺激とポリモーダル受容器について説明できる。	講義
	3	鍼灸療法の一般治効理論③ 4)生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響①	灸療法と炎症について、関連と違いを説明できる。 炎症反応と各種メディエーターについて、反応を理解し、産生物等を説明できる。	講義
	4	鍼灸療法の一般治効理論④ 4)生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響②	各灸術による生体防御機構に及ぼす影響について説明できる。 鍼刺激による免疫系への影響について説明できる。	講義
	5	鍼灸療法の一般治効理論⑤ 5)鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用	鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用について説明できる。	講義
	6	関連学説① 1)ｻｲﾊﾞﾈﾃｨｯｸｽ　2)ﾎﾒｵｽﾀｼｽ	サイバネティックスについて説明できる。 ホメオスタシスについて説明できる。 緊急反応について説明できる。	講義
	7	関連学説② 3)ｽﾄﾚｽ学説　4)ﾎﾒｵｽﾀｼｽ	ストレス学説(汎適応症候群)について説明できる。 レイリー現象(過剰刺激症候群) について説明できる。	講義
	8	関連学説③ 5)圧発汗反射	圧発汗反射(交叉性交感神経反射)の学説について説明できる。	講義
	9	まとめ		講義
	10	まとめ		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科

【分野】専門分野 臨床はり学、臨床きゆう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき臨床診察学Ⅳ【臨床医学各論Ⅱ】

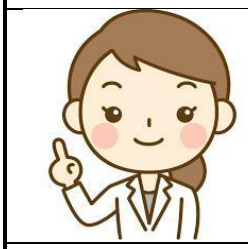
【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	渋谷　砂恵子 （しぶや　さえこ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1・２学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	はき臨床でも遭遇する疾患のはき治療の適応と不適応の鑑別ができる能力を取得するために、各疾患の概念、原因、主症状、検査所見、予後について学習していく。 また、臨床に必要な診察および治療に関する医学知識ならびに技能の概要を理解する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	はき臨床において遭遇する不適応を判定できる能力を習得するために、不適応疾患の特徴や病歴聴取のポイントを理解する。 また、診察学の概要を理解し、診察の方法と応用を概説できる。

【担当教員から】

教科書	１．「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	１．「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験により評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験の評価を合計して 60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床はり学・臨床きゅう学・はき臨床診察学Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業内容は実技科目と臨床実習が関連するため、積極的な学習姿勢が望まれます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	神経疾患①	主な神経疾患（脳血管疾患、感染性疾患、脳・脊髄腫瘍、変性疾患、認知症性疾患、筋疾患、運動ニューロン疾患、末梢神経性疾患、神経痛、機能性疾患）について説明できる。 神経系の診察（各種検査法）について概説できる。 運動機能検査について概説できる。	講義
	2	神経疾患②		講義
	3	神経疾患③		講義
	4	神経疾患④		講義
	5	神経疾患⑤		講義
	6	リウマチ性疾患	主なリウマチ性疾患について説明できる。 リウマチ性疾患に関する上肢の診察について説明できる。 免疫血清学的検査について説明できる。	講義
	7	膠原病①		講義
	8	膠原病②		講義
	9	膠原病③		講義
	10	まとめ		講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	一般外科、麻酔科①	損傷概論について説明できる。 ショックについて説明できる。 救急処置・救急蘇生法について説明できる。 麻酔について説明できる。 ペインクリニックについて説明できる。 バイタルサインについて概説できる。	講義
	14	一般外科、麻酔科②		講義
	15	一般外科、麻酔科③		講義
	16	婦人科疾患、皮膚科、眼科、耳鼻科①	子宮筋腫、子宮癌、乳癌、更年期障害についてそれぞれ説明できる。 接触性皮膚炎、じんま疹、アトピー性皮膚炎についてそれぞれ説明できる。 目の診察、結膜炎、角膜炎、麦粒腫（ものもらい）、白内障、緑内障についてそれぞれ説明できる。 メニエール病、中耳炎、突発性難聴、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎についてそれぞれ説明できる。	講義
	17	婦人科疾患、皮膚科、眼科、耳鼻科②		講義
	18	婦人科疾患、皮膚科、眼科、耳鼻科③		講義
	19	小児科、精神科、心療内科①	主な小児科疾患について説明できる。 神経症について説明できる。 統合失調症について説明できる。 躁鬱病（気分障害）について説明できる。 心身症、神経性食思不振症、神経性過食症について説明できる。	講義
	20	小児科、精神科、心療内科②		講義
	21	小児科、精神科、心療内科③		講義
	22	まとめ		講義
	23	期末試験		試験
	24	期末試験の解説・解答		講義

2022 年度　Ｉ部鍼灸科
【分野】　専門分野　社会はり学、社会きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】社会はき学Ｉ【社会はき学】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	足立　昌彦 （あだち　まさひこ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	現代社会において、特に高齢者、子ども、女性、スポーツ傷害に対するはり師、きゅう師の業務、役割、特有な疾患の治療について概説します。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	現代社会において鍼灸の需要が増えている高齢者、子ども、女性、スポーツ傷害の治療に対応するために、その世代や状況にみられる身体の特徴や特有な疾患について学び、安全かつ有効に治療するための知識を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．社会あはき学：東洋療法学校協会　編 ２．東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉：東洋療法学校協会　編
参考書	１．『コメディカルのための専門基礎分野テキスト』老年医学：中外医学社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験の評価を合計して 60%以上で履修とする。この科目は専門分野・社会はき学Ｉの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。 ２．授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 ３．東洋医学・現代医学の両側面から授業を行うことがあるので、混同しないように注意して下さい。 ４．体調管理をしっかりと行い、授業の出席には十分留意して下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
1期	1	高齢社会におけるはき師の役割①	高齢者特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	2	高齢社会におけるはき師の役割②		講義
	3	高齢社会におけるはき師の役割③		講義
	4	スポーツ傷害に対するはき師の役割①	身体各部のスポーツ傷害の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	5	スポーツ傷害に対するはき師の役割②		講義
	6	スポーツ傷害に対するはき師の役割③		講義
	7	小児の健康管理	小児特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	8	女性の健康管理①	女性特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	9	女性の健康管理②		講義
	10	女性の健康管理③		講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】専門分野　社会はり学、社会きゆう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】社会はき学Ⅱ【関係法規】

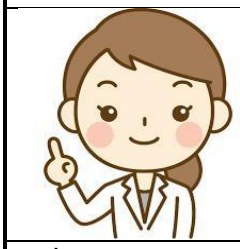
【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	大三川　万起子 （おおみかわ　まきこ）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	はり師、きゅう師という医療従事者としてわが国で活動していく上で必要な法律「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（以下、あはき法）」上の規定を学んでいく。例えば、免許を申請するにはどのような書類が必要か、臨床の場である施術所に必要とされる基準は何か、広告の違反などに対する罰則を取り上げる。また医療の一翼を担う者として、医療法・医薬品医療機器等・医師法など私達を取り巻く医療関係の法規を学ぶ。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	免許を与えられて施術を行う責任感を持てるように、あはき法や他の医療関係者の法規、医療関係の法規について理解する。

【担当教員から】

教科書	１．「関係法規」第７版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験の評価 60%以上で履修とする。 この科目は専門分野・社会はり学、社会きゆう学・社会はき学Ⅱ・関係法規の単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くことに努めてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	わが国の法の体系	わが国の法規を優先順位の高いものから並べ、概説できる。	講義
	2	あはき法①	あはき法による免許について概説できる。 あはき師として行える業務と行えない業務を説明できる。 あはきの施術所の構造設備・届出・行政指導について説明できる。 出張専業や滞在業務の届出について概説できる。 あはき法による広告の制限について説明できる。 あはき師に関わる罰金について説明できる。	講義
	3	あはき法②		講義
	4	あはき法③		講義
	5	あはき法④		講義
	6	あはき法⑤		講義
	7	あはき法⑥		講義
	8	医師法・その他の医療関係者の身分法	医師法について説明できる。 その他の医療関係者の身分法を挙げ、概説できる。	講義
	9	医療法	医療法により規定されている医療施設を挙げ、概説できる。	講義
	10	医薬品医療機器等	医薬品医療機器等が規定しているものを挙げ、概説できる。 医薬品を分類できる。	講義
	11	期末試験		試験
	12	期末試験の解説・解答まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　実習　はき適応疾患実習Ⅱ

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき適応疾患実習Ⅱ【はき適応疾患実習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	西岡　岳之 （実務経験あり）	
単位数	2 単位		（にしおか　たけゆき）	
開講学期	前期・後期	授業形態･回数	講義・実習	36 回

【授業情報】

授業概要	最終学年での応用実技授業として、臨床に出た際に直ぐに使える技術の習得を目指す授業です。２年までの基本的な技術を踏まえて、種々の症候・疾患を想定して具体的な治療を実践するために開業または病院勤務されている教員・講師に教授してもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	臨床に出た際に直ぐに使える技術を習得するために、基礎理論をふまえて各疾患に対し、診察・診断・治療ができる。

【担当教員から】

教科書	１．『東洋医学臨床論　はりきゅう編』；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．『臨床医学各論』；東洋療法学校協会編（医師薬出版株式会社） ２．『臨床医学総論』；東洋療法学校協会編（医師薬出版株式会社） 他、授業内で適宜提示します。
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを期末試験にて判断する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験の評価を合計して 60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・鍼灸実習・はき適応疾患実習Ⅱの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業は各疾患に対し、現代医学と東洋医学両方の内容から行います。 『臨床医学各論』、『臨床医学総論』『東洋医学臨床論』などを参考に行います。授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 また、東洋医学的考察と現代医学的考察の両方を用います、混同しないようにしてください。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期後期	1	頭痛①	頭痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 頭痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	2	頭痛②		
	3	耳鳴り・目眩・難聴①	耳鳴り・目眩・難聴に対する基本的な診察を行うことが出来る。 耳鳴り・目眩・難聴に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	4	耳鳴り・目眩・難聴②		
	5	眼精疲労・眼痛	眼精疲労・眼痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 眼精疲労・眼痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	6	高血圧・低血圧	高血圧・低血圧に対する基本的な診察を行うことが出来る。 高血圧・低血圧に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	7	顔面神経麻痺①	顔面神経麻痺に対する基本的な診察を行うことが出来る。 顔面神経麻痺に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	8	顔面神経麻痺②		
	9	鼻閉・鼻汁（花粉症など）	鼻閉・鼻汁に対する基本的な診察を行うことが出来る。 鼻閉・鼻汁に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	10	咳嗽・喉の痛み	咳嗽・喉の痛みに対する基本的な診察を行うことが出来る。 咳嗽・喉の痛みに対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	11	腹痛・悪心嘔吐①	腹痛・悪心嘔吐に対する基本的な診察を行うことが出来る。 腹痛・悪心嘔吐に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	12	腹痛・悪心嘔吐②		
	13	食欲不振	食欲不振に対する基本的な診察を行うことが出来る。 食欲不振に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	14	下痢・便秘①	下痢・便秘に対する基本的な診察を行うことが出来る。 下痢・便秘に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	15	下痢・便秘②		
	16	まとめ		講義･実習
	17	期末試験		試験
	18	期末試験の講評　まとめ		講義･実習
	19	歯痛	歯痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。 歯痛に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	20	婦人科疾患①	婦人科疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 婦人科疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	21	婦人科疾患②		
	22	婦人科疾患③		
	23	婦人科疾患④		
	24	婦人科疾患⑤		
	25	泌尿器疾患（排尿困難・頻尿など）①	泌尿器症状に対する基本的な診察を行うことが出来る。 泌尿器症状に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	26	泌尿器疾患（排尿困難・頻尿など）②		
	27	皮膚疾患①	皮膚疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 皮膚疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	28	皮膚疾患②		
	29	不眠症①	不眠症に対する基本的な診察を行うことが出来る。 不眠症に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	30	不眠症②		
	31	倦怠感・疲労	倦怠感・疲労に対する基本的な診察を行うことが出来る。 倦怠感・疲労に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	32	高齢者疾患	高齢者疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 高齢者疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	33	小児疾患	小児疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。 小児疾患に対する治療を行うことが出来る。	講義･実習
	34	まとめ		講義･実習
	35	期末試験		試験
	36	期末試験の講評　まとめ		講義･実習

2021 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅳ【はき臨床実習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	三浦　洋 （実務経験あり） （みうら　ひろし）	
単位数	1 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はりきゅう施術における基本的臨床能力を想起させるために付属施術所内にて臨床実習を行う。 ２年次までに学んだ知識や技能を、附属はり・きゅう施術所に通われている一般患者に対して、学生が診療チームの一員として参加し、教員・臨床実習指導者の指導のもとに許容される一定範囲のはり・きゅう施術を行い、将来はり師・きゅう師となるために必要な知識、技能、態度を修得することを目指すものである。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	はり師、きゅう師としての自立に向け、施術チームの一員として指導教員の指導・監督の下、外来患者の診察、はき治療の適不適の鑑別、治療計画、基本的治療技能、診療録への記録を含む患者マネジメントを実践し、臨床に携わる者としての態度、ならびに臨床能力の基礎を理解する。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） ベッドサイド実習：100%
履修の条件 留意点	本科目の単位取得のためには、全出席が必要です。欠席、遅刻や早退などは認められないので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．附属施術所での行動内容の確認や身だしなみのチェックをグループ内で行うこと。 ２．実習終了後は、症例報告書の作成を行い、後日指示に従って提出をすること。 ３．施術所で行う臨床実習での遅刻は欠席扱いとします。また、この科目は出席を重視しますので、１回の欠席は通常の２～３倍の総合評価の減点につながりますので、十分に自身の健康管理に留意すること。 ４．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・担当教員へ連絡すること。 ５．重要掲示板または教室に掲示する「臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に出席すること。
オフィスアワー	適宜３F 教員室を訪ねること。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1.施術所における臨床実習 1)指導教員の下で、全 5 回のベッドサイド実習を行う。小グループによるローテーションとする。（見学 1 回・学生施術 4 回） ①医療面接 ②身体診察 ③治療 ＊①～③を小グループ内にて役割分担 2)指導教員の下で、施術所一般患者の施術、施術前後の付帯業務を行う。また、状況によっては施術補助を行う。 3)毎回カルテの下書きを作成し、不明な点を調べて加筆した後、施術所カルテへ記録する。カルテの書き方は SOAP 方式に沿って記載する。 4)カルテは翌週施術日前日までに清書する。 2.症例報告作成・症例検討会実施 1)カルテ記載内容を元に、症例報告作成の手引きに基づき小グループで症例報告を作成する。 2)症例検討会にて発表し、クラス内にて質疑応答を実施する。 （１～３年生も参加）	1）診療を通して患者と良好な人間関係を確立することができる。 2）患者の抱える問題点に共感することができる。 3）面接所見をもとに、患者の抱える問題点に対する身体診察を実施できる。 4）受け持ち患者の抱える問題点に対する治療の適否判断し、施術計画の立案、治療穴の選定ができる。 5）患者に対し、インフォームド・コンセントが行える。 6）患者に不快な思いを与えずに、安全に配慮し、あまし施術、刺鍼・施灸することができる。 7）各症例に基づいて問題解決を行うことができる。 8）治療効果を判定することができる。 9）治療中のアクシデントに適切に対応することができる。 10）一般患者臨床の診療録を POMR と SOAP で作成できる。 11）受け持ち患者の情報を要約して、簡潔に提示できる。 12）症例報告を作成し検討・考察することができる。 13）自己の臨床能力を評価できる。 14）他からの臨床能力評価を受け入れる。 15）他の症例検討を通じた気づきを得る。	臨床実習 又は 演習・グループワーク

2022 年度　Ｉ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅲ【病理学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	李　英俊 （い　よんじゅん）	
単位数	1 単位			
開講学期	3 期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「病理学」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につける。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、病理学について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	「病理学概論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「病理学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「病理学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅲの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「病理学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
3 期	1	病因	病因について概説できる。	講義・演習
	2	循環障害	循環障害について概説できる。	講義・演習
	3	退行性病変	退行性病変について概説できる。	講義・演習
	4	進行性病変	進行性病変について概説できる。	講義・演習
	5	炎症	炎症について概説できる。	講義・演習
	6	腫瘍	腫瘍について概説できる。	講義・演習
	7	免疫異常・アレルギー	免疫異常について概説できる。 アレルギーについて概説できる。	講義・演習
	8	先天性異常	先天性異常について概説できる。	講義・演習
	9	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	講義・演習
	10	問題演習②		講義・演習
	11	問題演習③		講義・演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	12	まとめ		講義・演習

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅳ【臨床総合演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	坂本　辰徳 （さかもと　たつのり）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ専門基礎分野・専門分野の科目のうち、東洋系の科目（東洋医学概論・経絡経穴概論・東洋医学臨床論）をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、専門基礎分野・専門分野について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ３．東洋医学臨床論〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．課題提出と期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験の評価 60%以上により履修とする。 この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅳの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ東洋系の科目の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の課題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	経絡経穴概論　　問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	講義・演習 試験
	2	問題演習②		
	3	問題演習③		
	4	東洋医学概論　　問題演習①		
	5	問題演習②		
	6	問題演習③		
	7	東洋医学臨床論　問題演習①		
	8	問題演習②		
	9	問題演習③		
	10	問題演習④		
	11	1 学期期末試験		
	12	フィードバック		

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅴ【衛生・法規・医概演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	大三川　万起子 （おおみかわ　まきこ）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	「国民衛生の動向」のデータを参考にしながら、様々な統計を確認し、重要なデータを理解してもらいます。「医療概論・公衆衛生学・関係法規」として国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為に必要な力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、「医療概論・公衆衛生学・関係法規」について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１．「国民衛生の動向」　厚生統計協会
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「医療概論・公衆衛生学・関係法規」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．期末試験（卒業試験）：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「医療概論・公衆衛生学・関係法規」の範囲の評価 60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅴの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「医療概論」「公衆衛生学」「関係法規」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をしていきます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	衛生学的統計	わが国の様々な衛生学的統計を理解できる。	講義・演習
	2	健康・ライフスタイル	健康の定義について概説できる。 健康の増進について概説できる。 疾病予防について概説できる。 健康日本２１について概説できる。 健康と食生活について概説できる。	講義・演習
	3	環境と健康	日常生活環境について概説できる。 各種環境要因について概説できる。 公害について概説できる。 環境問題について概説できる。	講義・演習
	4	産業保健、精神保健	産業保健について概説できる。 精神保健について概説できる。	講義・演習
	5	母子保健、成人･高齢者保健	母子保健について概説できる。 成人･高齢者保健について概説できる。	講義・演習
	6	感染症、消毒法	感染症について概説できる。 消毒法について概説できる。	講義・演習
	7	疫学	疫学について概説できる。	講義・演習
	8	あはき法	あはき法について概説できる。	講義・演習
	9	医師法・その他の医療関係者の法規	医師法について概説できる。 薬剤師ほか、医療従事者の身分法を挙げ、概説できる。	講義・演習
	10	医療法	医療法が規定している医療施設を挙げ、概説できる。	講義・演習
	11	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法が規定しているものを挙げ、概説できる。 医薬品の分類が説明できる。	講義・演習
	12	医療制度・医療保障	医療保険の種類を挙げ、概説できる。 公費医療・医療扶助について概説できる。 国民医療費について概説できる。	講義・演習
	13	介護保険制度	介護保険制度について概説できる。	講義・演習
	14	医療倫理	医療倫理について概説できる。	講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅵ【東洋医学概論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	坂本　辰徳 （さかもと　たつのり）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「東洋医学概論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、東洋医学概論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ３．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「東洋医学概論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「東洋医学概論」の範囲の評価 60%以上により履修とする。 【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅵの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「東洋医学概論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	基礎理論・陰陽論	基礎理論・陰陽論について概説できる。	講義・演習
	2	五行説・五行色体表	五行説・五行色体表について概説できる。	講義・演習
	3	気血津液の生理	気血津液の生理について概説できる。	講義・演習
	4	気血津液の病理・病証	気血津液の病理・病証について概説できる。	講義・演習
	5	六臓六腑の生理	六臓六腑の生理について概説できる。	講義・演習
	6	六臓の病理・病証	六臓の病理・病証について概説できる。	講義・演習
	7	六腑の病理・病証	六腑の病理・病証について概説できる。	講義・演習
	8	八綱病証・病因論	八綱病証・病因論について概説できる。	講義・演習
	9	臓腑経絡論・経脈病証	臓腑経絡論・経脈病証（十二経絡病証・六経病証・奇経八脈病証）ついて概説できる。	講義・演習
	10	東洋医学的診察法と証の立て方①	東洋医学的診察法と証の立て方について概説できる。	講義・演習
	11	東洋医学的診察法と証の立て方②		
	12	東洋医学的診察法と証の立て方③		
	13	治療原則①	治療原則・刺法について概説できる。	講義・演習
	14	治療原則②・刺法		
		期末試験（一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		期末試験（二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅶ【経絡経穴概論演習】

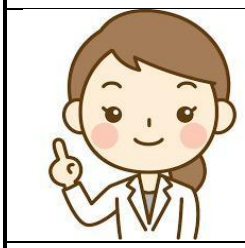
【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	稲葉　千里 （いなば　ちさと）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「経絡経穴概論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、経絡経穴概論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	経絡経穴概論：東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	WHO 経穴部位日本語公式版
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される卒業試験の「経絡経穴概論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「経絡経穴概論」の範囲の評価 60%以上により履修とする。 【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅶの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「経絡経穴概論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	経絡の概要・骨度法	経絡の概要・骨度法について概説できる。	講義・演習
	2	経穴の概要①	経穴（五兪穴・五要穴）について概説できる。	講義・演習
	3	経穴の概要②・奇経八脈	経穴（その他の要穴）・奇経八脈について概説できる。	講義・演習
	4	現代医学	現代医学について概説できる。	講義・演習
	5	上肢の経穴①	上肢の経穴について概説できる。	講義・演習
	6	上肢の経穴②	上肢の筋・神経について概説できる。	講義・演習
	7	下肢の経穴①	下肢肢の経穴について概説できる。	講義・演習
	8	下肢の経穴②	下肢の筋・神経について概説できる。	講義・演習
	9	体幹部の経穴①	体幹部（背側）の経穴について概説できる。	講義・演習
	10	体幹部の経穴②	体幹部（腹側）の経穴について概説できる。	講義・演習
	11	体幹部の経穴③	体幹部の筋・神経について概説できる。	講義・演習
	12	顔面・頚部の経穴	顔面・頚部の経穴について概説できる。	講義・演習
	13	奇穴	奇穴について概説できる。	講義・演習
	14	まとめ		講義・演習
		到達目標達成確認試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		到達目標達成確認試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2021 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅷ【東洋臨床診察治療学演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	小熊　勇人 （おぐま　はやと）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「東洋臨床診察治療学」をもとに、国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、東洋医学臨床論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．リハビリテーション医学　第４版　；東洋療法学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「東洋医学臨床論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「東洋医学臨床論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅷの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「東洋医学臨床論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	治療原則	治療原則について概説できる。	講義・演習
	2	頭痛・顔面痛	頭痛・顔面痛について概説できる。	講義・演習
	3	顔面麻痺・歯痛・眼精疲労	顔面麻痺について概説できる。 歯痛について概説できる。 眼精疲労について概説できる。	講義・演習
	4	脱毛症・めまい・鼻閉・鼻汁	脱毛症について概説できる。 めまいについて概説できる。 鼻閉・鼻汁について概説できる。	講義・演習
	5	耳鳴り・難聴・咳嗽・喘息	耳鳴り・難聴について概説できる。 咳嗽・喘息について概説できる。	講義・演習
	6	胸痛・腹痛・悪心と嘔吐	胸痛について概説できる。 腹痛について概説できる。 悪心と嘔吐について概説できる。	講義・演習
	7	便秘と下痢・月経異常・排尿障害・インポテンツ	便秘と下痢について概説できる。 月経異常について概説できる。 排尿障害・インポテンツについて概説できる。	講義・演習
	8	肩こり・頚肩腕痛	肩こり・頚肩腕痛について概説できる。	講義・演習
	9	肩関節痛・上肢痛	肩関節痛について概説できる。 上肢痛について概説できる。	講義・演習
	10	腰下肢痛・膝痛	腰下肢痛について概説できる。 膝痛について概説できる。	講義・演習
	11	運動麻痺・高血圧・低血圧	運動麻痺について概説できる。 高血圧・低血圧について概説できる。	講義・演習
	12	食欲不振・肥満・発熱	食欲不振・肥満について概説できる。 発熱について概説できる。	講義・演習
	13	のぼせと冷え・不眠・疲労と倦怠・発疹	のぼせと冷えについて概説できる。 不眠について概説できる。疲労と倦怠・発疹について概説できる。	講義・演習
	14	スポーツ傷害、小児の症状・老年医学	スポーツ傷害について概説できる。 小児の症状について概説できる。 老年医学について概説できる。	講義・演習
		期末試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義

2022 年度　Ⅰ部鍼灸科
【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅸ【はき理論演習】

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	武井　良之 （たけい　よしゆき）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	今までに学んだ「はき理論Ⅰ・Ⅱ」をもとに、「はり理論」「きゅう理論」として国家試験に出題される範囲を中心に、講義と問題演習を行い、合格する為の力を身につけてもらいます。また、はり理論、きゅう理論、生理学、その他関連科目とのつながりを確認し、解説をしつつ補充していきます。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	国家試験に合格するために、はり理論について総括し、理解を深め、国家試験レベルの問題に正しく解答できる力を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験（卒業試験）の「はき理論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定基準（評価割合：%） １．期末試験：100%
履修の条件 留意点	期末試験（卒業試験）の「はり理論」「きゅう理論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅸの単位として認定されます。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「はり理論」「きゅう理論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2・3期	1	鍼の基礎知識	鍼の基礎知識について概説できる。	講義・演習
	2	刺鍼の方式と術式、特殊鍼法	刺鍼の方式と術式について概説できる 特殊鍼法について概説できる。	講義・演習
	3	鍼の臨床応用とリスク管理	鍼の臨床応用について概説できる。 鍼のリスク管理について概説できる。	講義・演習
	4	鍼治効の基礎①	鍼治効の基礎について概説できる。	講義・演習
	5	鍼療法の一般治効理論①	鍼療法の一般治効理論について概説できる。	講義・演習
	6	鍼療法の一般治効理論②	奇穴について概説できる。	講義・演習
	7	灸の基礎知識と灸術の種類	灸の基礎知識について概説できる。 灸術の種類について概説できる。	講義・演習
	8	灸の臨床応用とリスク管理	灸の臨床応用について概説できる。 灸のリスク管理について概説できる。	講義・演習
	9	灸治効の基礎①	灸治効の基礎について概説できる。	講義・演習
	10	鍼・灸の治効の基礎①	感覚の伝導について概説できる。 痛覚抑制系について概説できる。	講義・演習
	11	鍼・灸の治効の基礎②		講義・演習
	12	灸療法の一般治効理論①	灸療法の一般治効理論について概説できる。	講義・演習
	13	関連学説①	鍼灸の関連学説について概説できる。	講義・演習
	14	関連学説②		講義・演習
		期末試験 （一次卒業試験）		試験
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	問題演習⑦		演習
	22	問題演習⑧		演習
	23	問題演習⑨		演習
		期末試験 （二次卒業試験）		試験
	24	まとめ		講義